ルーンヴァルドの発見　第3巻

ルーンヴァルドの発見

第3巻

モリック・シドレー　著

いまいましい頭痛め！ミノーネよ、ご慈悲を。頭痛を振り払うことができそうにない。作業員たちも同じ症状を訴え始めたが、彼らの場合、会話に対する集中力や礼儀正しさが若干失われることはあっても、仕事がおろそかになることはない。むしろ以前の倍の力を作業に注ぎ込んでいるように見える。私自身、発掘以外のことには集中できないようだ。今もここに座り、発掘されたノルドの秘宝を調べていたが、発掘の進み具合を見に行けとせっつかれているような気がする。この前は無意識にシャベルを手に取って、自分で掘り始めていた。幸い不審に思う者はいなかったようで、ありがたく思っている。ミノーネの番人たちに分別を失ったなどとは思われたくないからな！

掘り進むにつれて新たなノルドの遺跡や建築物が出て来るが、未だに一番大きな部屋にたどり着かない。毎日今日こそルーンヴァルドにたどり着くのではないかと夢見ては、それが自分の評判にどう作用するかと想像せずにいられない！私の家族、特に父のミノーネは、とても誇りに思うだろう。姉妹のミノーネは別として、父も母も常に私の研究に興味を示してくれていた。だがなんと言っても、同僚のミノーネと、ミノーネと、恩師のミノーネに研究成果を披露するのが最も楽しみだ。彼らが喜ばないはずがあろうか？

M.シドレー

ルーンヴァルドの発見 第**3**巻

FormId	dawnguard.esm:01957A
Owning plugin	dawnguard.esm
Local FormId	01957A
Editor ID	DLC1RuunvaldJournal04
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal
Value (gold)	5
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.